

アンケート調査の概要

目次

1. アンケート調査全体の枠組み	2
2. 市民アンケート調査票	3
(1) 作成方針	3
(2) 調査項目の関連図	4
3. 企業アンケート調査票	5
(1) 作成方針	5
(2) 調査項目の関連図	6

- ・本資料ではアンケート調査の概要（目的・作成方針等）を整理しています。
- ・市民アンケート調査票（案）は資料1-2①を確認ください。
- ・企業アンケート調査票（案）は資料1-2②を確認ください。

1. アンケート調査全体の枠組み

●調査のポイント

【市民アンケート】

①市民の行動変化の実態把握及びコロナ禍収束後の意向調査

→サンプル数の確保が難しい中山間地域等は追加調査

→遠隔授業等により公共交通利用が大きく減ったと推測される大学生も追加調査

②コロナの恐れを克服するために必要な施策の検討

→住民は公共交通に乗ることによる感染リスクを過大評価する傾向にある

(出典：(公社)土木学会 土木計画学研究委員会,「新型コロナウイルスに関する行動・意識調査」,2021.6閲覧.)

【企業アンケート】

①テレワーク等の実態把握及びコロナ禍収束後の意向調査

→産業分類、職業分類等で公共交通利用の傾向が異なるため、その詳細を把握

●調査の概要

区分	対象	調査手法	有効回答数 (想定)
市民 アンケート	市全域	WEBアンケート (リサーチ会社経由)	2,500サンプル (行政区・性別・年齢階層別で均等割付)
	居住誘導 区域外	調査票配布 (郵送) (QRコードで回答頂く)	2,600サンプル (約1万世帯に配布)
	大学 (4箇所)	調査票配布 (大学経由) (紙またはQRコードで回答頂く)	400サンプル (広島修道大学・広島工業大学 ・広島経済大学・広島市立大学)
企業 アンケート	企業	ホームページへの掲載 (商工会議所経由)	400サンプル

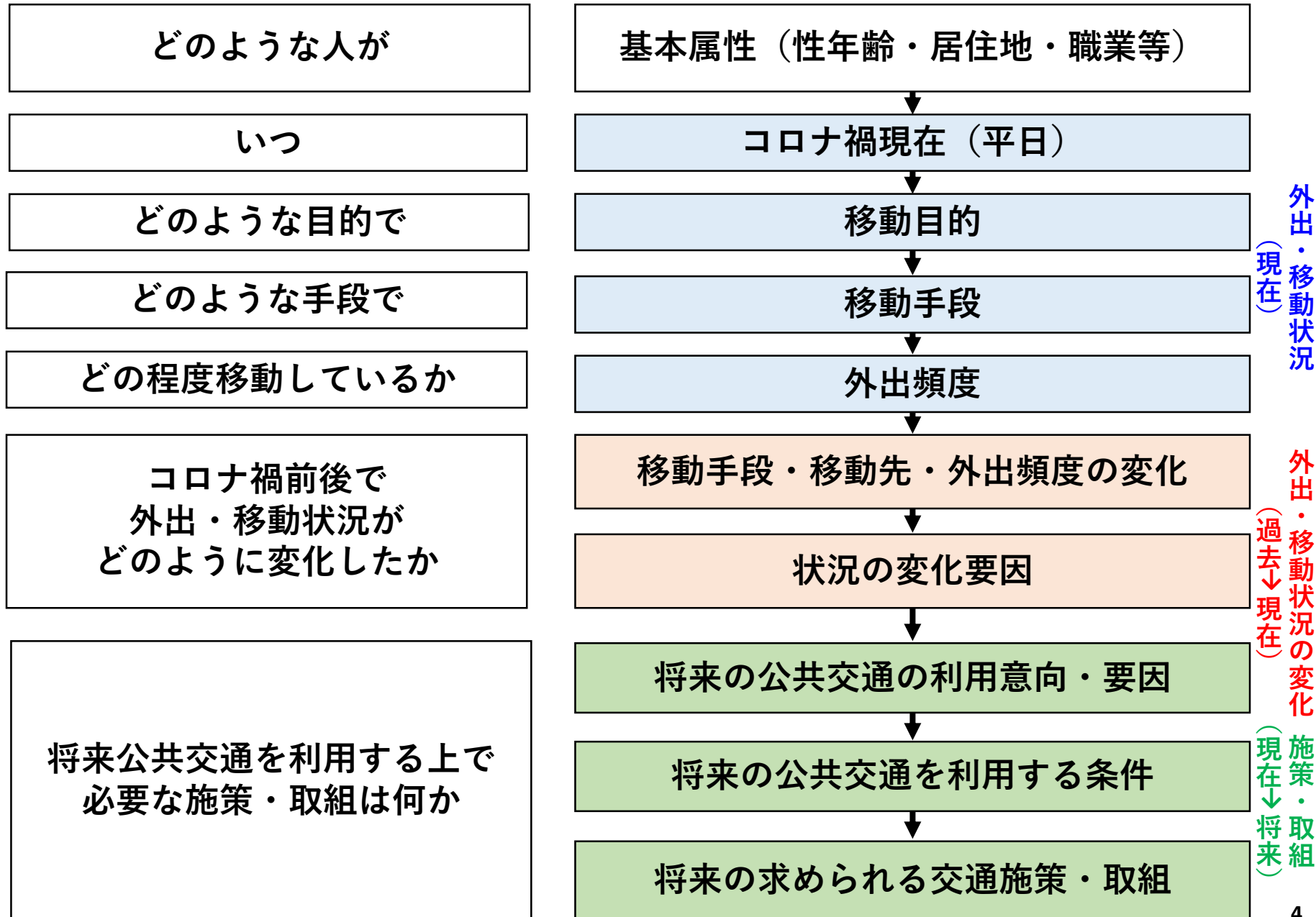
2. 市民アンケート調査票（1）作成方針

アンケート調査により、時間軸（コロナ禍前・コロナ禍現在・コロナ禍収束後）に沿った広島市民等の外出・移動先・移動状況の変化と今後の意向を把握する

- ・ **コロナ禍（現在）** の外出・移動状況の把握
- ・ **コロナ禍（現在）** を基準にし、**コロナ禍前（過去）** からの外出・移動先・移動状況の変化を把握
- ・ **コロナ禍（現在）** を基準にし、**コロナ禍収束後（将来）** の外出・移動状況に関する意向を把握

	コロナ禍前 （過去）	コロナ禍 （現在）	コロナ禍収束後 （将来）
市民等	外出頻度は、 過去⇒現在で減った？ 移動手段は、 公共交通⇒自動車？ 等	目的別の外出頻度 ・ 移動手段 等	外出頻度は、 現在⇒将来で増える？ 移動手段は、 自動車⇒公共交通？ 等

2. 市民アンケート調査票（2）調査項目の関連図



3. 企業アンケート調査票（1）作成方針

アンケート調査により、時間軸（コロナ禍前・コロナ禍現在・コロナ禍収束後）に沿った広島市内の企業の就業体制の変化と今後の意向を把握する

- ・ **コロナ禍（現在）** の就業体制の把握
- ・ **コロナ禍（現在）** を基準にし、**コロナ禍前（過去）** からの就業体制の変化を把握
- ・ **コロナ禍収束後（将来）** の外出・移動状況に関する意向を把握

	コロナ禍前 （過去）	コロナ禍 （現在）	コロナ禍収束後 （将来）
企業	勤務場所は、 会社⇒自宅に変化？ 在宅勤務手当を新たに 導入？	就業体制 ・テレワーク、時差出 勤等の実施状況	テレワークは、 現在⇒将来で増える？ 今後、導入していく新たな 取組は？ 公共交通への意見、要望等

3. 企業アンケート調査票（2）調査項目の関連図

